

南九州西回り自動車道 阿久根川内道路決起大会 報告書

開催日 令和8年5月30日(土)
13:30～15:15(受付開始 13:00)

会場 川内駅コンベンションセンター
SSプラザせんだい
(多目的ホール/薩摩川内市平佐一丁目18番地)

南九州西回り自動車道 阿久根川内道路の 早期完成を!

南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会

目 次

大会の概要	1
オープニング	3
DANCE STUDIO 奏によるダンスパフォーマンス	
開会宣言 (南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会実行委員会副会長) (南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協会の会長)	4
阿久根市長 西平 良将	
基調講演	5
国土交通省九州地方整備局 道路部長 福井 貴規	
意見発表(沿線住民代表)	9
株式会社アクティブ 及び 株式会社がらっぱ堂 代表取締役 神崎 裕士 鹿児島県立鶴翔高等学校 田ノ上 賢作	
開会あいさつ (南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会実行委員会会長) (南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協会の副会長)	11
薩摩川内市長 田中 良二	
来賓あいさつ	12
衆議院議員 小里 泰弘 衆議院議員 野間 健 国土交通省九州地方整備局 局長 垣下 禎裕 鹿児島県知事 塩田 康一	
来賓者一覧	16
祝電	17
大会決議	18
薩摩川内市議会 議長 下園 政喜	
頑張ろう三唱	20
阿久根市議会 議長 牟田 学	
集合写真	22
大会トートバッグ	23
大会リーフレット	24
アンケート結果	26
新聞記事	28
高規格道路概要図	29

大会の概要

南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会

開催日	令和8年5月30日(土)
会場	SSプラザせんだい(薩摩川内市平佐一丁目18番地)
主催	南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会
共催	阿久根市・薩摩川内市
協賛	鹿児島県高規格幹線道路建設促進協議会

南九州西回り自動車道は、九州縦貫自動車道や東九州自動車道などとともに広域的な高速道路ネットワークを形成し、九州の一体的浮揚に寄与するだけでなく、地域間の交流連携の強化、産業、観光の振興のほか、原子力災害を含む大規模災害時における住民の広域避難や物資の緊急輸送などに大きな役割を担う極めて重要な高規格道路です。

本県域においては、鹿児島IC～薩摩川内水引IC間及び阿久根IC～出水IC間の約61kmが供用されています。残る芦北出水道路、阿久根川内道路のうち芦北出水道路は橋梁工事などが鋭意行われ、令和10年度に全線開通と明示されました。しかし、阿久根川内道路は平成27年度に約22kmが一括して事業化され、令和元年10月から工事着手されましたが、供用までには相当の事業費と時間を要するものと考えられます。

このような状況の中で、沿線の阿久根市、薩摩川内市等の住民が結集して、阿久根川内道路の早期完成にかける熱い思いを国等に強くアピールし、本自動車道の1日も早い全線開通を図るために、本決起大会を開催しました。

南九州西回り自動車道の建設促進大会は、過去にも、薩摩川内市(平成20年)、阿久根市(平成25年)、出水市(令和元年)等で開催していますが、阿久根川内道路としての決起大会開催は、令和4年のSSプラザせんだい(薩摩川内市)での大会を皮切りに、5年連続5回目となります。

オープニングは、未来を担う沿線住民を代表して、薩摩川内市を拠点とし、全国大会から地域のイベントまで、多方面で活躍する「DANCE STUDIO 奏」の皆さんに、ダンス演技を御披露いただきました。

大会は、まず西平良将阿久根市長(阿久根川内道路建設促進協力会会長・決起大会実行委員会副会長)の開会宣言に始まり、基調講演では、国土交通省九州地方整備局福井貴規道路部長から、阿久根川内道路の計画や整備状況について御講演をいただきました。写真等を交えた御説明により、参加者は整備の進捗状況を理解することができました。また、薩摩川内市と阿久根市の住民代表による意見発表では、それぞれの立場から南九州西回り自動車道阿久根川内道路の全線開通に期待する思いや願い等をアピールいただきました。

次に、田中良二薩摩川内市長(阿久根川内道路建設促進協力会副会長・決起大会実行委員会会長)が開会あいさつを行い、小里泰弘衆議院議員、野間健衆議院議員、国土交通省九州地方整備局垣下禎裕局長、塩田康一鹿児島県知事から来賓あいさつをいただきました。ごあいさつの中にも阿久根川内道路の早期整備の必要性が述べられており、その重要性を参加者全員で認識しました。

そして、大会決議として「全区間での用地取得着手や工事着手、供用予定年次の明示と早期完成」、「第一次国土強靱化実施中期計画を踏まえた関係予算は、通常予算とは別枠での満額確保、また、同中期計画を着実に進めるため、資材価格・人件費高騰等の影響については予算編成過程で適切に反映すること」等を下園政喜薩摩川内市議会議長が提案しました。提案された要望項目は、参加者全員の大会記念トートバッグ掲揚賛同と万雷の拍手で採択されました。

結びに、牟田学阿久根市議会議長の発声により、参加者全員による頑張ろう三唱を行い、国等に対し、阿久根川内道路の早期完成を強くアピールし、一日も早く全線開通するよう参加者全員が地域住民と共に頑張っていく決意を固め、盛会により大会を終えました。

大会の概要



大会会場外観(SSプラザせんだい)



大会会場内(ホール)



パネル展示(ロビー)



案内(ロビー)



舞台(壇上者)



会場の様子(参加者)



基調講演



アンケート回収(閉会后)

オープニング

DANCE STUDIO かなで 奏

オープニングを飾っていただいたのは、薩摩川内市に拠点を構えるダンス&フィットネススタジオ「ダンススタジオ奏」の皆様です。

2017年に創設され、様々な大会や地元イベントで活躍されており、昨年10月には東京都で開催された全国大会にも出場しており、複数の部門で優勝を果たしました。日頃の練習成果を十分に発揮され、日本中を元気にしてくれています。

阿久根川内道路の早期完成に向け、関係する全ての皆様に向けて元気を届けていただきました。



南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会会長
南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会実行委員会副会長
阿久根市長

西平 良将

皆様こんにちは。南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会の会長を務めております、阿久根市長の西平でございます。決起大会の開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、このように多数の御参加を賜り、心からお礼申し上げます。会場には、薩摩川内市、阿久根市をはじめとする約800名もの皆様に御参加をいただきました。阿久根川内道路の早期完成を願う全ての皆様に対して、この場をお借りして、改めてお礼を申し上げます。

さらに、本日、御出席をいただいております地元選出国會議員の先生方をはじめ、国土交通省九州地方整備局、並びに御来賓の皆様、沿線の関係者の皆様には、日頃より南九州西回り自動車道阿久根川内道路の建設促進に格別の御高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

先ほど本大会のオープニングとして、「ダンススタジオ奏」の皆様による、大変元気が出るダンスを届けていただきました。阿久根川内道路の早期開通を願う熱い思いが伝わり、会場の気持ちが一つになる素晴らしいパフォーマンスでした。本当にありがとうございました。

南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」は、ミッシングリンクの解消をはじめ、国道3号とのダブルネットワークにより、北薩地域における産業、観光振興、農林水産業の活性化、さらには沿線自治体が連携して仮称大川インターチェンジ付近に整備する新たな道の駅との相乗効果など、様々な分野で更なるストック効果が期待され、長期にわたり地域経済の成長や安全・安心に寄与する大変重要な道路でございます。

阿久根川内道路の整備状況は、後ほど、九州地方整備局道路部長の福井様から御説明いただく予定となっておりますが、我々住民の身近な場所でも、その整備は着実に進められております。



阿久根市側の阿久根インターチェンジから仮称西目インターチェンジ間の高松川橋、薩摩川内市側の仮称湯田西方インターチェンジから薩摩川内水引インターチェンジ間の草道川橋など、目に見えて工事を進めていただいていることに対し、感謝申し上げます。

阿久根川内道路の事業費は、令和7年度補正予算額11億円、令和8年度の当初予算額26億円、合わせて37億円となっております。

阿久根市と薩摩川内市の両市としても、阿久根川内道路の事業を推進するため、令和7年度から用地国債を活用し、両市の土地開発公社による用地買収も進めており、今後も着実な事業推進に尽力してまいります。

このように事業は確実に進んでおりますが、全線開通までには、まだまだ多くの予算が必要であり、長期かつ安定的に道路整備予算を確保することが極めて重要であります。

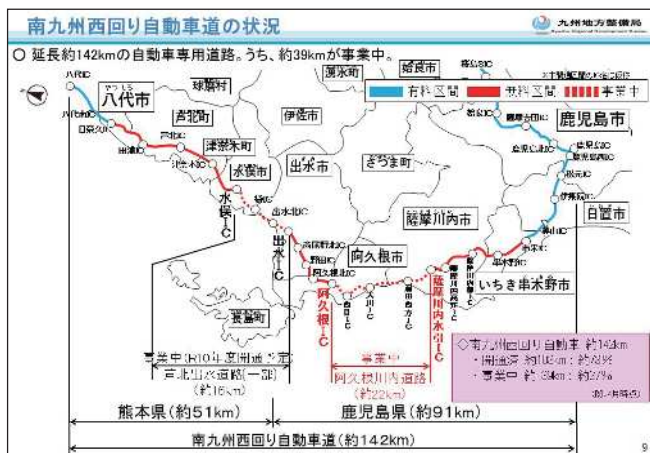
私も南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会といたしましても、県や関係自治体の皆様としっかりと連携し、関係省庁への要望活動を継続していくことがさらに重要になるものと考えておりますが、早期完成には地域住民の熱意が必要不可欠であります。このあとの意見発表におきまして、住民を代表して神崎様、田ノ上様に思いを述べていただきますが、沿線地域の皆様方には変わらぬ力強い御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは只今より、南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会の開会を宣言いたします。

国土交通省九州地方整備局
道路部長

福井 貴規

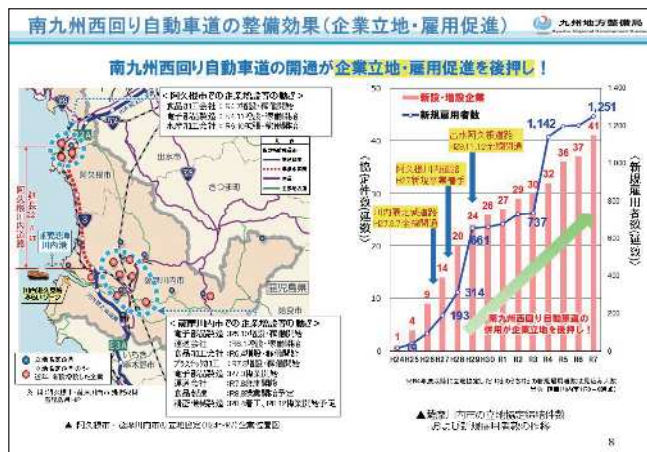
皆さん、こんにちは。国土交通省九州地方整備局道路部長をしております福井と申します。本日は本当にこれだけたくさんの御来賓の皆様、関係者の皆様、そして地域の皆様お集りのもと、令和8年度の阿久根川内道路決起大会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また日頃から阿久根川内道路の事業推進に多大なお力添えをいただきますことを深く感謝申し上げます。今日はこのような熱気あふれる決起大会で事業の紹介をさせていただく機会をいただきました。本当にありがとうございます。私からは、現在の阿久根川内道路の工事の状況を簡単ではありますが御紹介させていただきます。



まず南九州西回り自動車道の全体の状況です。南九州西回り自動車道は全長142kmで、現在開通していますのが103km、約73%です。現在事業を進めているのは水俣ICから出水ICまでの芦北出水道路、そして阿久根ICから薩摩川内水引ICまでの阿久根川内道路になります。ご存じの方も多いかと思いますが、芦北出水道路につきましては、令和10年度の開通ということで昨年度公表させていただきました。こういった高規格道路が延長しますと大変大きな効果を発揮すると思います。ただ本来の高規格道路の機能を発揮するのは全線がつ



ながった時が、一番大きな効果を発揮いたします。



特に阿久根川内道路については、段階的な整備につれて、阿久根市や薩摩川内市周辺での企業の新規立地新規増設、あるいは雇用の増加が右側の図で示すように、経済活動が大変活発となっており、鹿児島の中でも、九州の中でも非常に重要な地域だということだと思います。



こちらは並行する国道3号の災害等での通行止め又は通行規制の箇所を示していますが、非常に多くの交通規制が発生しています。この阿久根川内道路もこういった現道の機能を確保するための国土強靱化を図る道路ですし、また原発の災害等の避難道路になっている重要な道路です。こう

いったまさに経済の道、そして命の道としての阿久根川内道路、ますます早期供用の必要性が増しているのではないかと考えています。



こちらが、阿久根川内道路の全体の状況です。阿久根ICから薩摩川内水引IC間の延長22.4kmですが、その間に3つのインターチェンジを計画しています。すべて仮称ですが、西目IC、大川IC、湯田西方ICです。このIC間ごとに区間割りをして事業を進めています。できるだけ延長をつないでいくという観点からも、この事業に関しては阿久根側、薩摩川内側の両側から工事を進めていまして、現在阿久根ICから西目IC間は用地進捗率が97%というところまでできています。また、反対側の薩摩川内水引ICから湯田西方ICまでの区間の用地進捗率は95%というところまでできています。両区間とも工事が全面展開中です。そして、大川ICから湯田西方ICまでの間、こちらは昨年令和7年2月に用地着手をしまして、今年度こちらについても初めて工事着手をするという予定にしています。また残る西目ICから大川ICまでの間についても、今後の工事を実施するためにも工事の設計や地質の調査等を進めています。



いくつか、工事の状況を紹介したいと思います。まず阿久根ICから西目IC間を御説明しますが、こちら阿久根IC付近の状況です。高松川橋の下部工は既にできていまして、昨年度、盛土工事、跨道橋の下部工工事を行っています。今年度は引き続き盛土工事、跨道橋の下部工、または上部工を進めていくこととしています。



こちらも阿久根・西目間ですが、山下地区です。下の農道の機能確保をするためのボックスカルバート、これはすでに完了していまして、昨年度は盛土工事を進めてきました。今年度も引き続き盛土工事を進めていきますが、だいぶ道路の形状が見えてきている状況です。



こちらが西目IC付近の状況です。西目ICにランプがつながっていきます。右側が阿久根ICで左側が大川ICとなります。こちら、昨年度は本線の擁壁工、切土工事等を進めてまいりましたが、本年度はさらに切土工事を進めていきます。

こちら、先ほどの西目IC付近で、ランプ側から見た様子です。このランプで、肥薩おれんじ鉄道と国道3号を超えて国道3号にタッチする計画となっ



ています。こちらランプ部の切土工事等を本年度進めていくこととしています。



ここから反対側になりますが、湯田西方ICから薩摩川内水引IC間の工事の状況を説明してまいります。こちら薩摩川内水引IC付近の様子は、完成予想図は本線から少しランプ部を拡大した様子です。ランプ部のボックス工事に於いて昨年度は切土工事を行っています。今年度も引き続き盛土あるいは切土工事を進めてまいります。



こちらは、構造物が連続する区間ですが、奥に見えるのが(仮称)草道トンネルです。延長216mで

すが、こちらは令和5年8月末までに施工が完了しています。現在はトンネルにつながる橋梁の工事を進めています。この橋梁で7基の下部工の計画をしまして昨年度までに4基の下部工工事が完了しており、現在は2基の工事を行っています。今年度は引き続き2基の下部工工事を進めています。



こちらは、湯田西方IC付近の写真です。向かって下のほう薩摩川内水引IC側が終点です。こちらは、今後盛土工事を進めていくための必要な地盤改良工事を昨年度完了してしまして、今年度は橋梁の下部工工事を進めていくこととしています。また、湯田西方ICより先の区間が、先ほどお話しした令和7年2月に用地着手した区間になりますが、今年度こちら地盤改良工事に初めて着手することとしています。



以上、代表的な工事箇所についてのみ御紹介させていただきました。こういった航空写真は鹿児島県国道事務所のホームページでご覧いただけます。また定期的に事務所から地域の皆様に阿久根川内道路ニュースということで資料を発刊させていただきますので、ぜひこういった資料から

工事の推進の応援をしていただきたいと思います。

九州地方整備局といたしましては、引き続きこの阿久根川内道路の一日も早い早期供用に向けて精一杯頑張ってまいりますので、皆様方の力強い御支援をどうぞ引き続きよろしくお願いいたします。



薩摩川内市企業連携協議会理事
「株式会社アクティブ」及び「株式会社がらっぱ堂」
代表取締役

神崎 裕士

私は薩摩川内市企業連携協議会の理事を務めております、神崎と申します。普段は、北薩にお住まいの方であればご存じの方も多い「がらっぱ堂」という模型店と、「アクティブ」というOA機器販売の会社を経営しております。

「模型屋と事務機器屋で道路の話？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、ですが、商売をしておりますと、道の大切さを日々痛感します。どんなに良い商品があっても、どんなに良いサービスがあっても、届かなければ意味がない。人が来なければ、地域は賑わわない。企業同士の連携も、行き来しやすい環境があって初めて生まれます。

私は、がらっぱ堂のSNS運営もしております。ありがたいことに、時々動画や投稿がバズることがあります。全国から反応をいただけるのですが、その時によく言われるのが、「近くだったら行ってました！」です。これは本当に、かなりの頻度で言われます。つまり、興味は持っていただけている。商品力も、発信力も、ある程度は評価していただいている。でも最後の一步を阻んでいるのが、“距離感”なんです。こちらとしては、「いや、意外と来れますよ！」と返すこともあるのですが、現実にはやはり移動時間の壁があります。

また、事務機器の仕事では、ありがたいことに北薩一円から様々な御依頼をいただきます。営業トークでは、「ありがとうございます！すぐ行きます！」と元気よく言うのですが、内心では「ちょっと遠いな…」と思ってしまうことも正直あります。現場へ向かう私たちは、毎日“移動時間”との戦いです。時には、「案件対応している時間より、運転している時間の方が長いな」と思う日もあります。これは、私一人の話ではありません。物流、建設、医療、観光、農業。あらゆる業種の皆さんが、“移動時間”という見えないコストを払い続けています。

先日、ある建設会社の社長さんに、「この道路、あと何年くらいでできるんですか？」と聞きました。



すると、「あと10年くらいですかねえ」という返事でした。

実は私、その社長さんに10年前も同じ質問をしているんです。その時も、「あと10年くらいですねえ」と言われました。もちろん、現場の皆さんが懸命に工事を進めておられることは十分理解しております。本当に頭が下がります。だからこそ、国や行政、そして私たち地域住民も一致団結して、もっとスピード感を持って進めていかなければならないと思っています。

今の時代、人手不足が大きな課題となっています。だからこそ、「時間をどう生み出すか」が地域の競争力になります。南九州西回り自動車道阿久根川内道路は、単なる道路ではありません。地域の時間を生み出すインフラです。移動時間が短くなれば、企業はもっと動けます。人の交流が増えます。観光客も来やすくなります。災害時の安心にも繋がります。

私は模型屋でもありますので、子どもたちと接する機会が多いのですが、やはり成長すると、進学や就職を機に地元を離れる子どもたちは非常に多いです。だからこそ、若い世代に「この地域でも挑戦できる」と思ってもらえる環境を作るとは、私たち地域の経済人の大切な役割だと思っています。道路というのは、単に車が走るためのものではなく、人の可能性を運ぶものだと思っています。「道が企業を育て、企業が地域を支える」まさに今日のテーマそのものです。企業が元気になれば、雇用が生まれます。地域にお金が回ります。祭りやイベントも続けられます。子どもたちの笑顔も増えます。

いつの日か、「昔は週刊少年ジャンプは火曜日発売だったし、阿久根まで行くのも、もっと時間かかってたんだぞ」と笑って話せる日が来ることを願ひまして、私の意見発表とさせていただきます。

鹿児島県立鶴翔高等学校
生徒会長

田ノ上 賢作

私は、鶴翔高等学校の農業科学科に在籍しています。農業科学科では、花を植えたり、野菜を育て収穫をしたり、A-5ランクの肉牛を目指し育成するなど、農業を専門に学んでいます。

また、本校には農業科学科の他にも、総合学科、食品技術科があり、食品技術科では、地域の食材を生かして、豚味噌やミカンジュース等を「3年A組の」シリーズとして製造・販売しています。どの学科も、阿久根市唯一の高校として地域と連携した活動に力を入れています。

青い海に囲まれた長島町で育ち、阿久根市の地で農業を学ぶ私にとって、この地域の美しい風景と豊かな自然、そして、その中で育まれる農産物、水産物は大きな誇りです。いつまでも豊かで魅力的な地域として栄えてほしいと心から願っています。

しかし、私たちの暮らしには大きな課題があります。それは、南九州西回り自動車道の「阿久根川内道路」が未開通であることです。薩摩川内市の水引インターチェンジから阿久根インターチェンジまでの約22キロが、この壮大な道路網における「ミッシングリンク(未整備区間)」となっています。私は高校生の視点から、この道路がもたらす「未来」への期待を伝えたいと思います。

まず、国会議員や行政の皆様にお願いがあります。この道路は単なる利便性の向上ではなく、私たちの「命」を守る道です。並行する国道3号は、曲がり道が多くて乗り心地が悪く、運転しづらく、大雨による法面崩壊や冠水で頻繁に通行規制がかかり、大規模地震の際には津波による浸水の恐れもあります。災害に強い「ダブルネットワーク」の構築は、地域存続のための最優先事項だと思います。

地域住民の皆様、特に高齢者や小さなお子さんを持つ御家族にとって、開通は大きな安心に繋がります。現在、阿久根・長島地域から鹿児島市内の



第3次救急医療施設へ60分以内に到達できる人口は約1割に過ぎませんが、整備後は約7割にまで拡大します。救急搬送の時間が短縮されることは、まさに命を繋ぐことに他なりません。

そして、私の仲間である高校生や子どもたちにとっても、この道は「希望」です。長島町から鹿児島市へ、または、阿久根市から熊本市などへ早く安全に移動することが可能となり、進学や就職を考える際、鹿児島市や熊本市へのアクセスが劇的に改善されることは、地元を離れずに夢を追う選択肢を広げます。八代から鹿児島まで約250分かかっていた所要時間は、全線開通により約120分へと大幅に短縮されます。移動のストレスが減ること、若者の流出防止や定住促進が期待できるのです。所要時間が短縮されるということは、長島や阿久根などから物を運ぶことが有利になります。

さらに、この道は私たちの伝統文化を世界へ発信する架け橋となります。阿久根には、50歳を迎えた卒業生が全国から集う「華の50歳組」という素晴らしい文化があります。道路が開通すれば、市外・県外からより多くの先輩方が帰郷しやすくなります。また、我が町・長島が誇る「棒踊り」や「御八日(ごようか)踊り」、阿久根市脇本地区で伝承に努めている「山田楽(やまだがく)」といった伝統芸能も、より多くの観光客に見ていただくチャンスが増えるでしょう。交流人口の拡大は、地域の商店や産業を活性化させ、私たちの街をより輝かせてくれるはずです。

「阿久根川内道路」の完成は、私たちがこの地で安心して学び、働き、次世代へ文化を繋いでいくための基盤です。この道が全て開通し、八代から鹿児島、ひいては小倉から鹿児島までが一本の太い絆で結ばれる日を、私たちは心待ちにしています。地域の未来を、どうか私たちと一緒に築いてください。

南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会実行委員会会長
南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会副会長
薩摩川内市長

田中 良二



只今、御紹介を賜りました、南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会副会長並びに決起大会実行委員会会長の薩摩川内市長の田中良二でございます。

本日は、南九州西回り自動車道阿久根川内道路 決起大会の御案内を差し上げましたところ、このように沢山の方々に御参加を賜り、誠にありがとうございます。約800名の御参加をいただいているとのこと。

本決起大会は、令和4年の初開催から数えて、5年連続での開催となりました。大変お忙しい中、御参加をいただいております皆様と、阿久根川内道路の早期完成を願うすべての皆様に対して、この場をお借りして、心からお礼を申し上げます。

また、本日御臨席をいただいております、地元選出の衆議院議員小里泰弘様、野間健様をはじめ、国土交通省九州地方整備局長垣下禎裕様、鹿児島県知事塩田康一様ほか、御来賓の皆様や沿線の関係者の皆様には日頃から南九州西回り自動車道阿久根川内道路の建設促進に格別の御配慮を賜り、この場を借りて、深く感謝申し上げます。

オープニングでは、ダンススタジオ奏の皆様から爽快で、元気の出るダンスを届けていただきました。基調講演では、九州地方整備局道路部長の福井貴規様に、南九州西回り自動車道の整備状況についての御講演をいただきました。また、神崎様と田ノ上様からは、阿久根川内道路の大切さと重要性を再認識できる大変素晴らしい意見発表をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。本日御参加の皆様方にも本自動車道の現状と、今後の整備の展望が御理解いただけたものと思います。

さて、阿久根川内道路は、平成27年度に全線が一括して事業化されて以来、九州地方整備局様をはじめ、関係の皆様のお御尽力により整備が着実に進められております。

仮称湯田西方インターチェンジから薩摩川内水引インターチェンジにおいては、用地進捗率も約95%と先が見えてきており、草道川橋をはじめ橋梁工事などが鋭意進められております。残る仮称湯田トンネルや他の構造物についても準備段階に入っていると伺っております。

仮称大川インターチェンジから仮称湯田西方インターチェンジまでの区間についても、昨年度から用地取得が開始され、国、阿久根市と連携しながら、土地開発公社において用地の取得を推進してまいります。また、工事につきましても、今年度中に工事用道路の造成に着手する予定と伺っており、期待を大きくしているところです。

さらに、本道路沿線では鹿児島県指定文化財「名勝・牛之浜海岸」に隣接する仮称大川インターチェンジ付近に「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅を整備するよう阿久根市を中心として官民をあげて活動されております。この道の駅が整備されることで観光振興のみならず、地域経済の活性化、防災拠点としての機能強化にも大きく寄与します。

また、周辺の状況としましては、重要港湾川内港におきまして、船舶の大型化に対応した唐浜地区国際物流ターミナルが暫定供用され、既に大型のコンテナ船も入港しております。更に、港の背後地においては、サーキュラーパーク九州が営業するとともに、国内最大級のAIデータセンターの新設も予定されております。本市としては、川内港背後地を一大産業拠点とすべく、本年、経済産業省の「GX戦略地域」の指定を目指しており、南九州西回り自動車道の機能を最大限に活用するため、地域の魅力向上に取り組む所存であります。

このように、道路は地域の活力と命を支えるものですが、その機能はつながってこそ本来の力を発揮するものであります。阿久根川内道路の早期完成は、地元の悲願となっております。

早期完成には、地元の熱意が非常に重要であります。熱意が予算の確保、事業推進へと繋がっていくと思っております。一日も早く阿久根川内道路が開通されますよう、これまで以上に国と県と地元が一体となる必要がございますので、本日は過去最大の熱意ある大会となるよう、皆様には御協力をお願い申し上げます。

結びに、本日結集された皆様の熱い思いが、本道路の早期完成に向けた強力な推進力となりますとともに、皆様の御活躍と御健勝を御祈念いたしまして、開会に当たりましての御挨拶といたします。

衆議院議員

小里 泰弘

皆様、こんにちは。南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会がこのように意気高く開催されますことをまず心からお喜びを申し上げます。郷土の発展を願う大きな使命感で御参集をいただきました皆様に深く敬意を表し、感謝をいたします。

私は今、衆議院では国土交通委員会と災害対策特別委員会に所属しておりますが、先般、災害対策特別委員会におきまして、道路すべての重要性を訴える機会を持ちました。いざ災害時におきまして、避難道路や物資輸送道路として道路が果たす役割は誠に大きなものがあります。特に高速道路につきましては、事前防災の観点からミッシングリンクの解消や4車線化を急がなければならない状況であります。

それから、先般は、川内港において新たな岸壁が完成し、その暫定供用の式典がありました。この川内港から西回り自動車道を経て宮之城で北薩横断道路と繋ぐ川内宮之城道路の建設構想も動いておりますし、また北薩横断道路の整備が全線着工のもとに今ついているところでございます。

こういった道路や九州縦貫自動車道とともに広域高速道路ネットワークを形成して、地域の産業の発展やあるいは観光の振興、企業誘致等と地域の発展に大きな効果を発揮することが期待されているのが、この南九州西回り自動車道であります。お陰様で芦北出水道路は令和10年度に完成の運びとなって参りました。御案内の通り阿久根川内道路につきましては、阿久根側、川内側の両方から工事を進めてきたところであります。そして大川から湯田西方インターの間におきましては、用地買収が進められ今年度第2四半期にはいよいよ橋梁工や改良工の工事に着手する予定であります。

果たしてあと何年かかるのか？そういったお話がありました。早期完成を目指す観点から私は自民党の道路調査会や国土交通部会において、訴え



てまいりました。また国交省や財務省にも足しげく通ってまいりました。国交省が令和6年度におきまして、昨今の資材の価格上昇等も踏まえた事業費の見直しを行っております。それによりますと現時点での阿久根川内道路の残事業費が894億円となっております。これに対しまして、予算の実績を見ますと西回り自動車道の県内分におきまして107.8億の予算付けとなっているところであります。芦北出水道路が完了するにつれその予算がこちらに回ってくる。これを基本としながら、さらに予算の上積みを図ってまいりたいと思います。

まさに、今が加速のしどきであります。ここに御参集の皆様の、その熱意こそが国を動かし、事業を前に進める最大の力であります。私も責任与党の観点から全力で取り組んでまいります。西回り自動車道がつながるということは命が守られて地域が守られ、未来が開けるということであります。今を生きる私たちの世代、この世代でしっかりと完成をさせる、けりをつけるその決意を新たに申し上げます。御挨拶に代えさせていただきます。頑張らしましょう！



衆議院議員

野間 健

皆さん、こんにちは。御紹介頂きました地元の衆議院議員、野間健です。本日は、南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会。私も沿線住民の一人として一日も早い完成を願っているものの一人として、今日は800名近い沿線住民の皆様、関係者の皆様がお集まりになって、この熱気あふれる心を結集させる大会になりましたこと、心からお慶び申し上げます。

そして先ほどは、ダンススタジオ奏のみなさん、本当、元気がありますね。いっぱい勇気をいただきました。そして先ほどはがらっば堂の神崎社長さん。まさに御自分の仕事、商売の中で道路ができればという切実な思いを聞かせてもらえました。そして鶴翔高校の生徒会長田ノ上さん。立派ですね。素晴らしい訴えでした。力強い、本当に勉強になりました。このように皆さんの思いを聞けば聞くほど、一日も早く完成を願わずにはいられない。皆さん共通した思いだと思います。

皆さん「菊作り 菊見るときは 陰の人」という吉川英治さんの言葉をご存じかと思います。菊を、一生懸命手塩に掛けて、こう花を咲かせようと思って育てて育てて、しかしその大輪の花が咲いたときは菊づくりをした人もう陰の人、そこにはいないかもしれない。このような例えなんですけれども、この南九州西回り自動車道の構想が生まれたのが、いわゆる四全総ですね。第四次全国総合計画1987年です。ですから39年前なんです。事業化されたのがその4年後1991年ですから、今から35年前。この間ずっとこの40年近い歳月を沿線住民の皆さん、沿線自治体の首長の皆様や議会の皆様、もちろん国、県多くの皆さんがその熱意を持ち続けて、ここまで来ている。

当時の国会議員を調べてみますと熊本県では園田博之さん。亡くなられてますね。そして鹿児島側では、井上吉夫先生とか松下忠洋先生とか一生懸



命菊を育て、しかしやっこの大輪の花を咲かせようというとき、それを見ることは叶わないわけであります。まあこういうような多くの先輩、先達が汗と涙、喜び悲しみでここまでこの事業を大きく大きく育ててきました。私たちはこれを必ずや一日も早く完成させる。その使命がその責務が我々すべてにあるのではないかと思います。

いろんな意味で、今、中東情勢等もあります。そう簡単なことではないと思いますけれども、ここにいらっしゃる皆さん一人一人の力を込めて、全力で、私もまたこの事業に取り組んでまいりますことをお誓い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

共に頑張りましょう。



国土交通省九州地方整備局
局長

垣下 禎裕

「令和8年度 南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会」の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日御臨席の皆様方におかれましては、平素より国土交通行政、特に道路行政の推進に対しまして、格別の御支援と御協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

本日は、小里先生、野間先生、塩田鹿児島県知事、沿線の市町の市長、町長の皆様をはじめとする関係者の皆様方の御臨席のもと、決起大会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

さて、九州の令和8年度道路関係の直轄事業当初予算については、約1,598億円で対前年度比約1.01倍となっております。

南九州西回り自動車道では約114億円、このうち芦北出水道路においては約88億円、阿久根川内道路においては約26億円となっているところでございます。

これも一重に御臨席の皆様が、地域の実情や南九州西回り自動車道の必要性を地元選出の国会議員や財政当局に熱心に御説明いただいたことによるものと、この場を借りて感謝を申し上げます。

昨年8月には記録的な大雨により土砂災害など甚大な被害が発生しました。

南九州西回り自動車道は、こういった災害時においても、人流や物流を確保するための強靱な道路ネットワークを構築するものと考えています。また、平時には時間短縮や走行性の向上が図られることにより、沿線地域の救急医療環境の向上をはじめ、地域産業の発展や観光振興など、地域活性化にも寄与する極めて重要な道路です。

九州地方整備局といたしましては、このような整備効果の高い道路の早期完成に向け、県、沿線市町と一緒に、全力で整備を進めて参りますので、引き続き、御理解と御協力をいただきますよう

お願いいたします。

昨年6月には「国土強靱化実施中期計画」が閣議決定され、令和8年度から令和12年度までを計画期間とし、推進が特に必要となる施策の事業規模が20兆円強程度と定められました。その初年度として、令和7年度補正予算では「生産性向上」分も含め、過去5年間で最大の額となる約5,800億円が計上されたところです。必要な道路整備を進められるよう、皆様方の力強い御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、本大会の成功と本日御臨席の皆様方の御健勝と御活躍を心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



鹿児島県知事

塩田 康一

皆さん、こんにちは。本日、南九州西回り自動車道「阿久根川内道路」決起大会が、関係の皆様多数御出席のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

また、地元選出の国会議員の皆様をはじめ、国土交通省、県議会議員の皆様、南九州西回り自動車道の沿線の市長、町長の皆様には、日頃から本自動車道の建設促進に多大な御支援・御理解を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

本自動車道は、九州縦貫自動車道や東九州自動車道と共に広域的な高速交通ネットワークを形成し、九州の一体的な浮揚・発展に大きく寄与する重要な道路であります。

これまでに供用された区間の沿線地域におきましては、企業立地の促進や救急医療活動の向上などが着実に図られております。また、大規模災害時の広域避難や緊急輸送、さらには、物流や観光等の産業振興においても重要な役割を担うなど、本県にとりまして、社会的・経済的に大きな効果をもたらす、正に地方創生、地域活性化に必要不可欠な道路であります。

また、県の重要港湾である川内港においては、コンテナ船の大型化や貨物の増加に対応した国際物流ターミナルを整備中であり、今年3月末に新たな岸壁を暫定供用いたしました。今後、同港の更なる物流の拡大や効率化等の効果を着実に産業振興などにつなげていくためにも、阿久根川内道路が果たす役割は極めて重要であると考えております。

本自動車道のうち芦北出水道路につきましては、今年2月、令和10年度に全線開通する見通しであることが発表されました。

阿久根川内道路につきましても、現在、阿久根インター側と薩摩川内水引インター側の双方から改良工事や橋梁工事などが鋭意進められており、ま



た、昨年度から、大川から湯田西方間において、阿久根市と薩摩川内市の両市の土地開発公社による用地の先行取得が行われるなど、着実な進捗が図られております。

今後、本道路の沿線地域におきまして、産業振興や地域経済の活性化を促進し、災害時における迅速かつ円滑な応急・復旧活動等の維持・拡大を図るためには、長期的かつ安定的に本自動車道の整備に係る予算が確保され、当該予算の本道路への重点的な配分により、早期の開通を実現することが極めて重要であると考えております。

県としましては、今後とも、沿線市町や地域の皆様と一体となって、阿久根川内道路及び南九州西回り自動車道の日も早い全線開通を目指し、国に対し強く要請してまいります。引き続き、皆様方の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の熱意が本道路の早期完成に向けた推進力となりますことと、沿線地域の発展、本日御出席の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

